

対象事業の政策・施策体系について

1. 審査会対象事業

事業名	担当部署名	
堺観光周遊バス助成制度(観光振興団体事業補助)	文化観光局観光部観光企画課	
政策・施策体系での位置づけ		
政策名	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	施策名
		歴史・文化資源を活かしたまちの賑わいの創出

2. 「堺市マスタープラン」における「歴史・文化資源を活かしたまちの賑わいの創出」に対する考え方

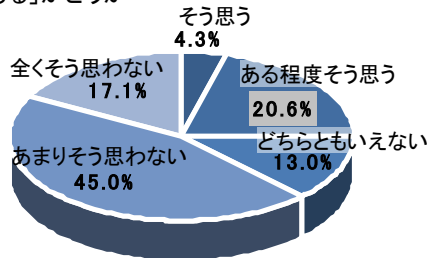
■ 現状と課題

本市では、独自の観光モデルコースを設定し民間ツアーを誘致するなど、観光振興に取り組んできた結果、市内を訪れる観光ビジター数は毎年増加していますが、市内を観光やビジネスで訪れた実宿泊者数は、近隣の4政令指定都市の中でも最も少なくなっており、政令指定都市平均をも大きく下回っています。

また、本市の観光名所や文化資源は市内各所に点在しているため、その魅力が市民にも十分に浸透していません。市内観光をより充実したものにするため、輝かしい歴史・文化資源をネットワーク化し都市魅力を高め、市内外へ発信していくことが求められています。

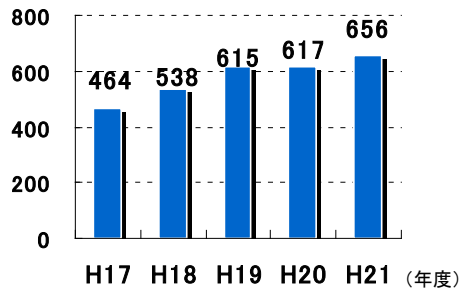
まちの魅力に関する市民の意識

「堺には海外の人が訪れたい魅力のあるスポットがある」かどうか



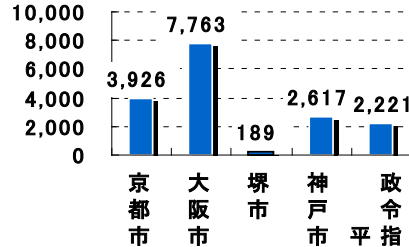
資料：堺市平成22年度市民意識調査結果

(万人) 観光ビジター数の推移



資料：堺市観光ビジター実態調査

(千人) 平成21年実宿泊者数



資料：観光庁宿泊統計調査

観光資源の周遊ネットワーク化とともに堺観光の玄関口として、その起点となる拠点施設を整備し文化と観光によるまちの魅力向上と地域振興を通じて、賑わいを創出することが求められています。

さらに、臨海部の先端産業や賑わい拠点を活用するなど、既存の文化・観光資源を活かしながら、新たなネットワークを形成するなど、市全体の魅力を高める活性化策を推進する必要があります。

■ 施策展開の方向性

市内の歴史・文化資源を活かす情報発信力の高い拠点的な施設の整備を推進するとともに、市内の魅力ある資源をネットワーク化することで、市全体の魅力を高め、賑わいを創出します。

■ 成果指標

指標	現状値	目標値
「堺には、海外の人が訪れたい魅力のあるスポットがある」と答えた人の割合(「そう思う」+「ある程度そう思う」の計)	24.9% (平成22年7月)	50%
堺市の認知度(東京・大阪 平均)	91.7% (平成18年度)	100%
観光ビジター数	656.4万人 (平成21年度)	1,400万人

平成25年度 事務事業総点検シート(1)

事業番号	1-②	事務事業名	堺観光周遊バス助成制度(観光振興団体事業補助)					
担当部署名	文化観光	局	観光	部	観光企画	課	作成担当者	小嶋

事業計画(Plan)	1	評価体系での位置づけ	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます				
			施策	4	歴史・文化資源を活かしたまちの賑わいの創出				
			細施策	1	観光等による賑わいの創出				
			再掲(政策・施策・細施策番号)						
	2	事業期間	開始	18	年度	～	終了	年度	(終期を定めていない場合は開始年度のみ)
	3	法定自治区分	全部自治事務			4	マスタープランの掲載	無	
	5	根拠法令	-			6	関連計画	堺市文化観光再生戦略プラン	
	7	事業の背景(実施の経緯)	堺市内の観光周遊におけるバス費用を一部助成することで、堺観光への動機づけを図る。誘客プロモーション活動の基礎データとして、観光客等のニーズや実態を把握する。						
	8	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市民、観光ビジター等						
	9	事業の目的(どんな状況にしたいのか)	堺を対象とする観光商品の造成や観光プランの企画促進など、誘客プロモーション活動を効果的に展開することにより、観光ビジターの増加を図る。また、域内消費の促進による経済波及効果を創出する。						

事業実施状況(Do)	10	事業の内容(何をやるのか)	バスを借り上げて、堺市内の観光施設を周遊する団体に対し、一定の要件のもとでバス1台につき、その借上げ費用の2分の1を限度に助成する。 上限額: 宿泊の場合 50,000円、日帰りの場合 30,000円					
	11	事業の実施方法 ※複数選択可能	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 貸付			
			<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他()			
		直接実施以外の支出先	(公社)堺観光コンベンション協会					
			項目	単位	H22年度決算	H23年度決算	H24年度決算	H25年度予算
	12	主な事業費内訳	事業費(a)	千円	10,294	10,602	12,485	12,390
			負担金、補助及び交付金	千円	10,294	10,602	12,485	12,390
				千円				
				千円				
				千円				
			国・府支出金	千円				
			市債	千円				
	13	財源内訳	一般財源	千円	10,294	10,602	12,485	12,390
			その他()	千円				
			人件費(b)	千円	850	850	830	820
			正規職員従事者数(常勤再任用職員含む)	人	0.1	0.1	0.1	0.1
13	職員数内訳	任期付短時間職員従事者数	人					
		再任用短時間職員従事者数	人					
		再雇用職員従事者数	人					
		非常勤職員従事者数(再雇用含まず)	人					
		短期臨時職員従事者数	人					
	人材派遣労働者数	人						
14	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	11,144	11,452	13,315	13,210		
15	対象者(利用者)数(d)	人	9,476	11,485	12,172	12,416		
16	単位あたりコスト(e)=(c)/(d)	千円	1	1	1	1		

平成25年度 事務事業総点検シート(2)

事業番号	1-②	事務事業名	堺観光周遊バス助成制度(観光振興団体事業補助)					
担当部署名	文化観光	局	観光	部	観光企画	課	作成担当者	小嶋

17 活動指標	指標名	単位		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	助成件数	件	目標	221	293	328	390	
			実績	279	312	371		
			達成率	126%	106%	113%		
	活動実績単位コスト(総コスト/活動実績)		千円	40	37	36		
	指標設定の考え方・算出方法・計算式など		対前年度5%増加を目指す					
	指標名	単位		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
			目標					
			実績					
			達成率	%	%	%		
活動実績単位コスト(総コスト/活動実績)		千円						
指標設定の考え方・算出方法・計算式など		【数値以外の目標や実績など】						

18 成果指標	指標名	単位		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	バス助成を利用した旅行の参加人数	人	目標	8,093	9,950	12,113	12,781	
			実績	9,476	11,536	12,172		
			達成率	117%	116%	100%		
	指標設定の考え方・算出方法・計算式など		対前年度5%増加を目指す					
	指標名	単位		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
			目標					
			実績					
			達成率					
	指標設定の考え方・算出方法・計算式など		【数値以外の目標や実績など】					

19 必要性の点検	①公益性		
	(対象者)	(必要性)	(判断理由・根拠)
	<input type="checkbox"/> 不特定多数の市民を対象としたサービスの提供 <input checked="" type="checkbox"/> 中間的なサービス <input type="checkbox"/> 特定少数の市民又は団体等を対象としたサービスの提供	<input type="checkbox"/> 市民生活に必要な不可欠なサービス <input checked="" type="checkbox"/> 中間的なサービス <input type="checkbox"/> 市民が必要とするサービス	堺観光を目的とする団体や市民等を対象とするため
	②市の関与の合理性		
	市の関与の妥当性の程度	(判断理由・根拠)	
	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低	堺への観光商品の造成等を通じて、観光ビジターの集客を図ることで、地域経済の活性化、まちの賑わい創出に寄与する。	
	③市民ニーズとの合致性		
	市民ニーズの把握	(把握方法・把握していない理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 把握している <input type="checkbox"/> 把握していない	アンケート調査を実施し、観光ニーズを把握している。	
	④政策・施策に対する目的適合性		
上位施策に対する貢献度	(判断理由・根拠)		
<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低	本市では、マスタープランにおいて、まちの賑わい創出や交流の活発化、観光ビジター数の増加を政策・施策の目標に掲げている。本助成制度は、堺観光へのインセンティブを高め、集客、賑わい創出、地域経済活性化に寄与するものである。		
⑤事務事業開始時と現在の状況の変化			
時代適合性について	(判断理由・根拠)		
<input checked="" type="checkbox"/> 適合性がある <input type="checkbox"/> 適合性がない	団体観光客向けのインセンティブとしては、バス助成制度が幅広く利用される制度である。		

平成25年度 事務事業総点検シート(3)

事業番号	1-②	事務事業名	堺観光周遊バス助成制度(観光振興団体事業補助)					
担当部署名	文化観光	局	観光	部	観光企画	課	作成担当者	小嶋

有効性・費用対効果の点検	①サービス水準の妥当性		(高水準のサービスが必要な理由、低水準の場合はその理由)		
	<input type="checkbox"/> 国の基準(他政令市の水準)を上回るサービス水準 <input type="checkbox"/> 国の基準(他政令市の水準)と同程度のサービス水準 <input type="checkbox"/> 国の基準(他政令市の水準)を下回るサービス水準				
	②成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を下回った(指標に改善傾向が見られる) <input type="checkbox"/> 目標を下回った(指標に改善傾向が見られない)		バス助成を利用した旅行参加人数は年々増加基調にある。		
	③活動実績における費用対効果		(左記の判断理由・根拠)		
(活動実績単位コストの経年変化)		(効率化の必要性)			
<input type="checkbox"/> 上昇傾向 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> 縮減傾向		<input checked="" type="checkbox"/> 効率化の可能性がある <input type="checkbox"/> 効率化の可能性はない		よりの確なマーケティングによる効率的なプロモーション活動の展開。 宿泊旅行へのインセンティブの向上	
④類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)			
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能					
⑤受益者(サービスを受ける側)負担の妥当性		(判断理由・根拠)			
負担を求める必要性		観光ビジターを対象とする誘導制度であり、観光ビジターが増加することによって地域経済への波及効果を生み、税収増にもつながるため。			
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
見直しの必要性					
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					

事業の振り返り(Check)	21	比較参考値 (政令指定都市の状況、国等の基準との比較等)	【政令指定都市の状況】			
			堺市	堺観光コンベンション協会実施	浜松市	実施していない
			札幌市	実施していない	名古屋市	実施していない
			仙台市	実施していない	京都市	実施していない
			さいたま市	実施していない	大阪市	実施していない
			千葉市	実施していない	神戸市	実施していない
			川崎市	実施していない	岡山市	実施していない
			横浜市	実施していない	広島市	実施していない
			相模原市	実施していない	北九州市	実施していない
			新潟市	実施していない	福岡市	実施していない
			静岡市	実施していない	熊本市	実施している(協議会)
			【国等の基準との比較】			
			【近隣市の状況】			

担い手の点検	22	①民間実施の可能性		(具体的内容、検討すべき業務がない理由)	
		<input type="checkbox"/> 既に民間実施・委託を導入している <input type="checkbox"/> 民間実施・委託を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間実施・委託を検討すべき業務がない		堺観光コンベンション協会は公益社団法人であり、すでに、民間企業人材を登用し、専門ノウハウの導入を図っている。	
		②国・府・広域連携の可能性		(具体的内容、検討すべき業務がない理由)	
<input type="checkbox"/> 既に国・府・広域連携を実施している <input checked="" type="checkbox"/> 国・府・広域連携を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 国・府・広域連携を検討すべき業務がない		誘客プロモーション活動の面において、関西の他政令市や泉州地域の各都市との連携を検討できる。			
③市民協働の可能性		(具体的内容、市民協働の可能性がない理由)			
<input checked="" type="checkbox"/> 既に市民協働を実施している <input type="checkbox"/> 市民協働の可能性はある <input type="checkbox"/> 市民協働の可能性はない		NPO法人堺観光ボランティア協会、堺市ホテル協会、鉄道会社などと連携を行っている。			

平成25年度 事務事業総点検シート(4)

事業番号	1-②	事務事業名	堺観光周遊バス助成制度(観光振興団体事業補助)					
担当部署名	文化観光	局	観光	部	観光企画	課	作成担当者	小嶋

23	改善の方向性 (Action)	現状の課題	平成18年度に制度を開始し、着実に、制度利用件数、堺を対象とした旅行件数が増加している。 ツアー件数の増加など、さらなる誘客を図るためには、プロモーション活動の積極的な展開だけでなく、新たな観光魅力づくり、観光客のニーズに対応したきめ細かな受入態勢の整備が必要である。
		今年度における改善策	バス助成制度のPRに加えて、堺への旅行造成を促す誘客キャンペーンを展開する。 堺観光の新たな魅力資源を発掘、発信する。(産業観光など)
		コスト削減が見込まれる場合はその内訳	

24	改善の方向性 (Action)	総点検に基づく方向性(所管課)					
		事業の方向性	拡充	/	/	/	○
			現状維持	/	/	/	/
			縮小	/	/	/	/
			廃止	/	/	/	/
			ゼロ	縮小	現状維持	拡大	
公金投入の方向性(人件費含む)							

25	改善の方向性 (Action)	次年度以降の取組方針	堺観光コンベンション協会を中心に、観光部、民間団体との連携を強化し、プロモーション活動を展開する。 特に26年度末の文化観光拠点の開設や世界遺産登録等を念頭に、新たなプロモーション戦略を立案する。
		コスト削減が見込まれる内容	

堺観光周遊バス助成制度（観光振興団体補助事業）

○制度の目的

堺市内を訪れる観光ビジター数を増加させるとともに、観光ビジターのニーズや実態等を調査することを目的として、バスを借り上げて堺市内の観光関連施設を周遊する団体に対して、その費用の一部を助成する。

○助成金額

バス1台につき、バス借上費用の2分の1以内を助成。

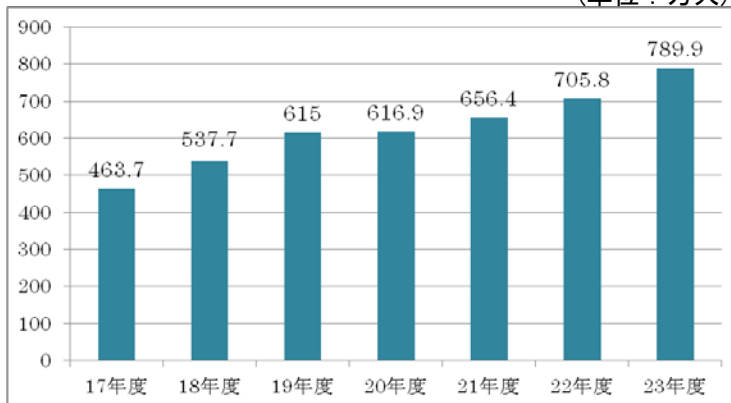
ただし、宿泊の場合は50,000円、日帰りの場合は30,000円をバス1台当たりの上限とする。

○交付要件

- * 10名以上の団体（堺市内の学校等は除く。）で、3時間以上堺市内を周遊すること。
（始点及び終点は堺市外であってもよい。）
- * 使用車両は、民間（市町等の交通局を含む）貸切りバスであること。（レンタカーは除く。）
- * 堺市内で宿泊するか、または、日帰りの場合は堺市内のホテル又は飲食店で食事をとること。
- * 1以上の堺市優良観光土産品販売店と、おいでよ堺21実行委員会発行の「堺観光マップ」または「堺まちあるきマップ」で解説、推奨されている施設を合わせて3箇所以上来訪すること。
- * 訪問施設の評価等に関するアンケート調査の回答を提出すること。

参考：堺市への観光ビジター数の推移

（単位：万人）



▲堺観光マップ



▲堺まちあるきマップ

■堺観光周遊バス助成制度の利用実績

○堺観光コンベンション協会でのバス旅行受入総数

(次ページ記載のワンストップサービスなど対応件数)

年度	18	19	20	21	22	23	24
件数	75	178	281	344	412	567	696
参加者数(人)	3,233	6,143	9,281	12,294	14,481	19,622	21,638

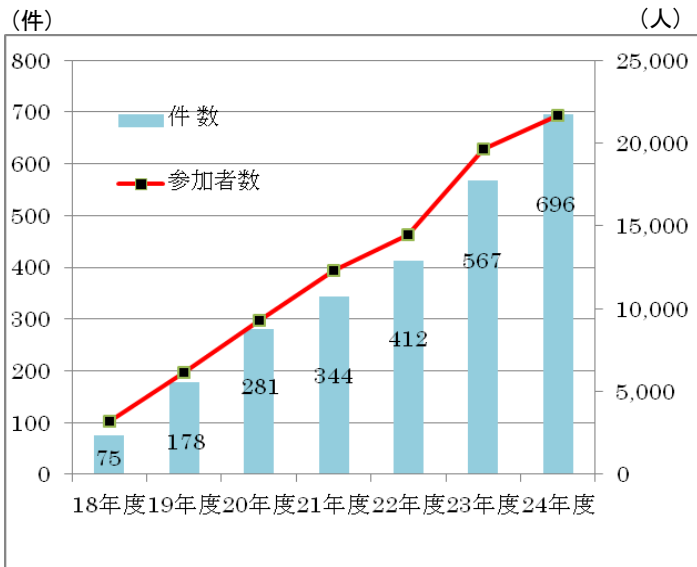
○上記の受入総数うち、バス助成制度適用したバス旅行

年度	18	19	20	21	22	23	24
件数	75	136	198	216	279	312	371
参加者数(人)	3,233	4,453	7,025	7,934	9,476	11,536	12,172

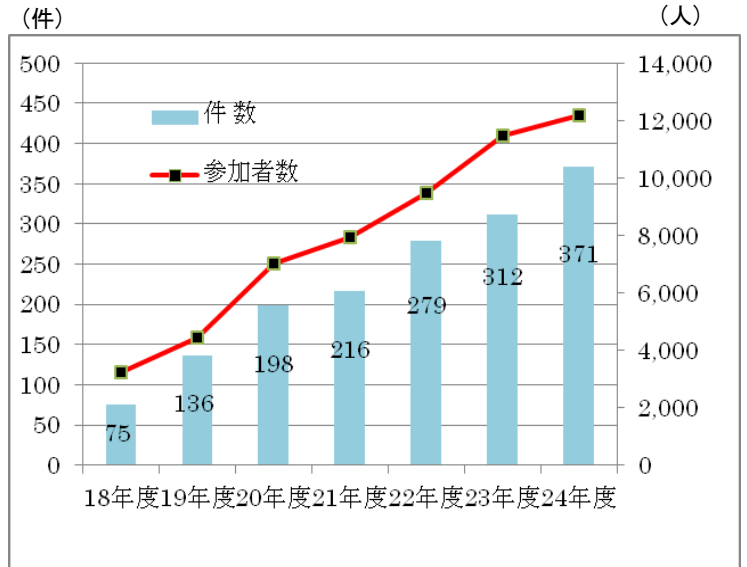
平成24年度 助成制度適用分のうち

宿泊件数 23件(6.2%) 562名(4.6%)

○協会でのバス旅行 受入総数



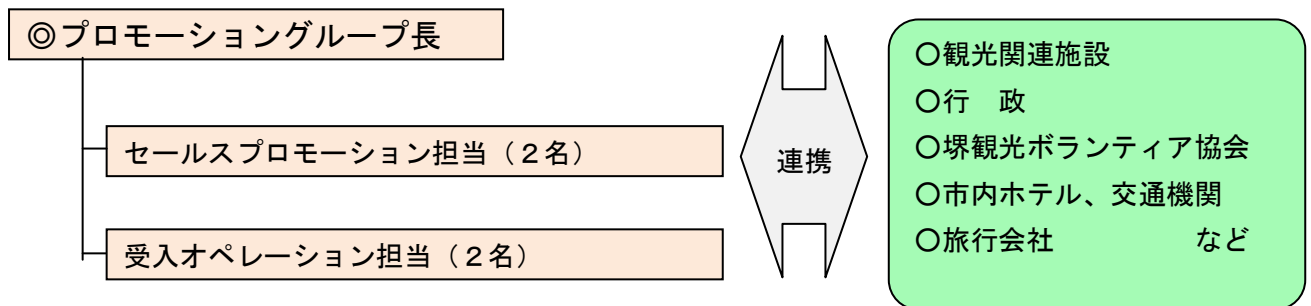
○うち、バス助成制度適用したバス旅行



■ 堺への観光誘客の取り組み

- 堺旅行商品の開発と旅行誘致を図るため、
堺観光コンベンション協会に民間主体の専門チームを設置(平成19年度)
- 堺の観光資源の発掘、魅力づくりの取り組みを強化
堺旅行に係るワンストップサービス提供を柱とする「着地型観光・堺モデル」を推進
- 堺への旅行誘致の売り込み策の一つとして、バス助成制度を導入
従来存在しなかった堺旅行ツアーが右肩上がり増加
- 観光誘客の取り組み強化の結果、堺市への観光ビジターも増加基調へ

【堺観光コンベンション協会プロモーショングループ体制】



【プロモーショングループの業務】

1. 観光資源の発掘・開発

- * 観光施設の発掘
神社仏閣、刃物・線香等伝統産業事業所
- * 体験プログラムの開発
伝統の技体験、座禅体験
- * 団体向け食事場所の確保



2. 堺旅行ツアーのプロモーション活動

- * 旅行会社へのDM等の送付
- * 誘客キャンペーンの企画・実施
- * 旅行会社へのセールス訪問



3. 堺旅行ツアーの造成等に係るワンストップサービス

〔着地型観光・堺モデル〕

- 企画：日程調整、コース設定、ボランティアガイド配置 等
- 見積：ツアー料金の見積り、見学先との料金交渉 等
- 手配：観光施設・食事場所・観光バス等の予約手配
- 催行：ツアー中アクシデントへの対応 等

4. 市場調査

- * バス助成ツアー参加者へのアンケート調査
- * 旅行会社のツアー造成状況の把握

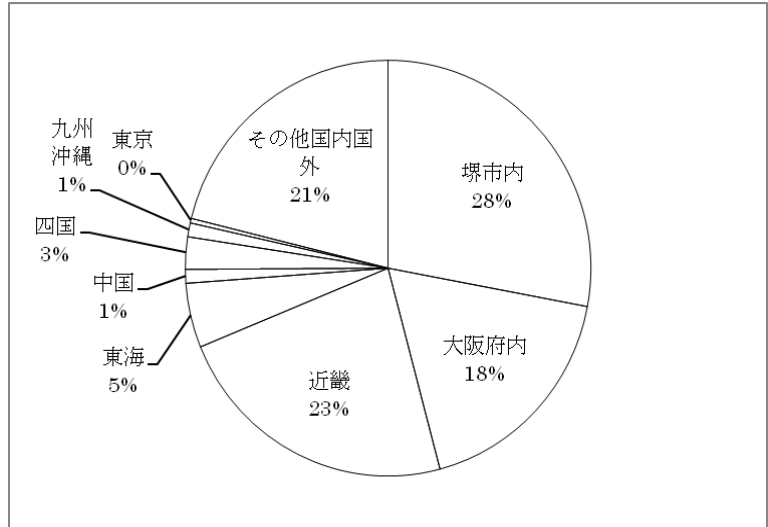


■アンケート結果

◎出発地別 助成制度利用件数

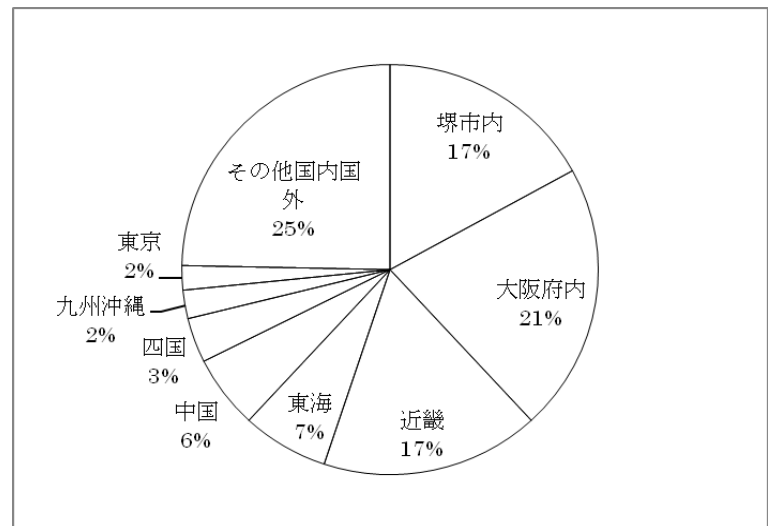
【平成22年度】

出発地	件数	構成比
堺市内	78	28.0%
大阪府内	50	17.9%
近畿	64	22.9%
東海	14	5.0%
中国	3	1.1%
四国	7	2.5%
九州沖縄	3	1.1%
東京	1	0.4%
その他国内・国外	59	21.1%
合計	279	100.0%



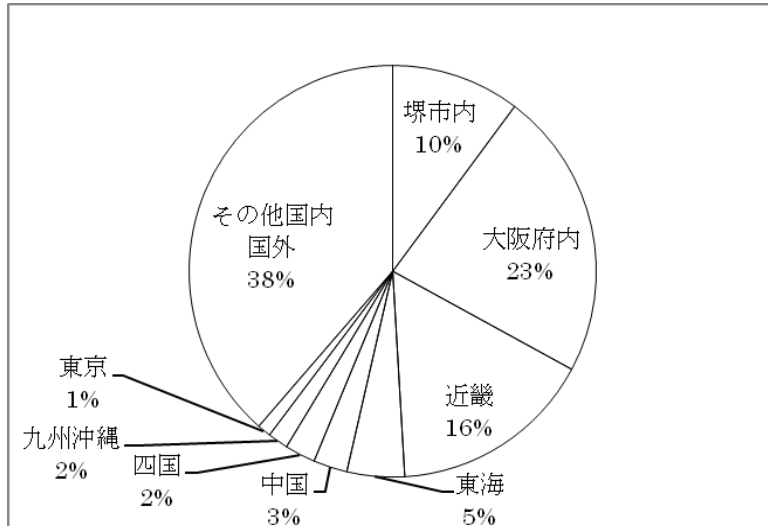
【平成23年度】

出発地	件数	構成比
堺市内	53	17.0%
大阪府内	66	21.2%
近畿	53	17.0%
東海	21	6.7%
中国	18	5.8%
四国	11	3.5%
九州沖縄	7	2.2%
東京	6	1.9%
その他国内・国外	77	24.7%
合計	312	100.0%



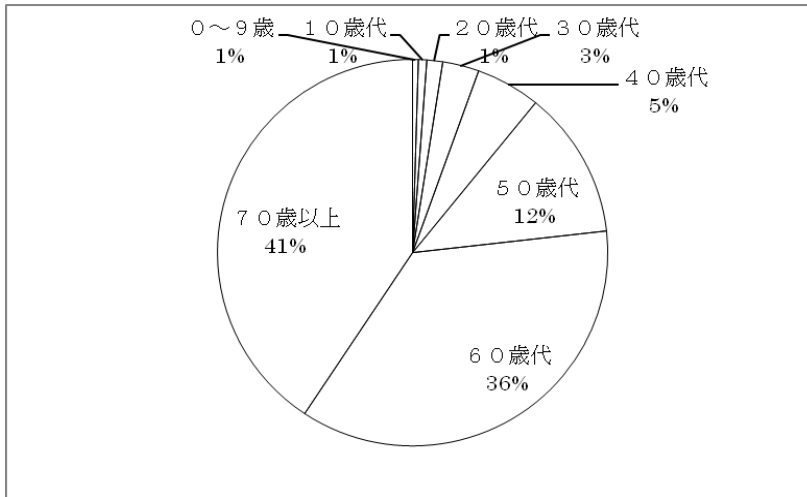
【平成24年度】

出発地	件数	構成比
堺市内	38	10.2%
大阪府内	84	22.6%
近畿	60	16.2%
東海	17	4.6%
中国	10	2.7%
四国	9	2.4%
九州沖縄	6	1.6%
東京	4	1.1%
その他国内・国外	143	38.5%
合計	371	100.0%

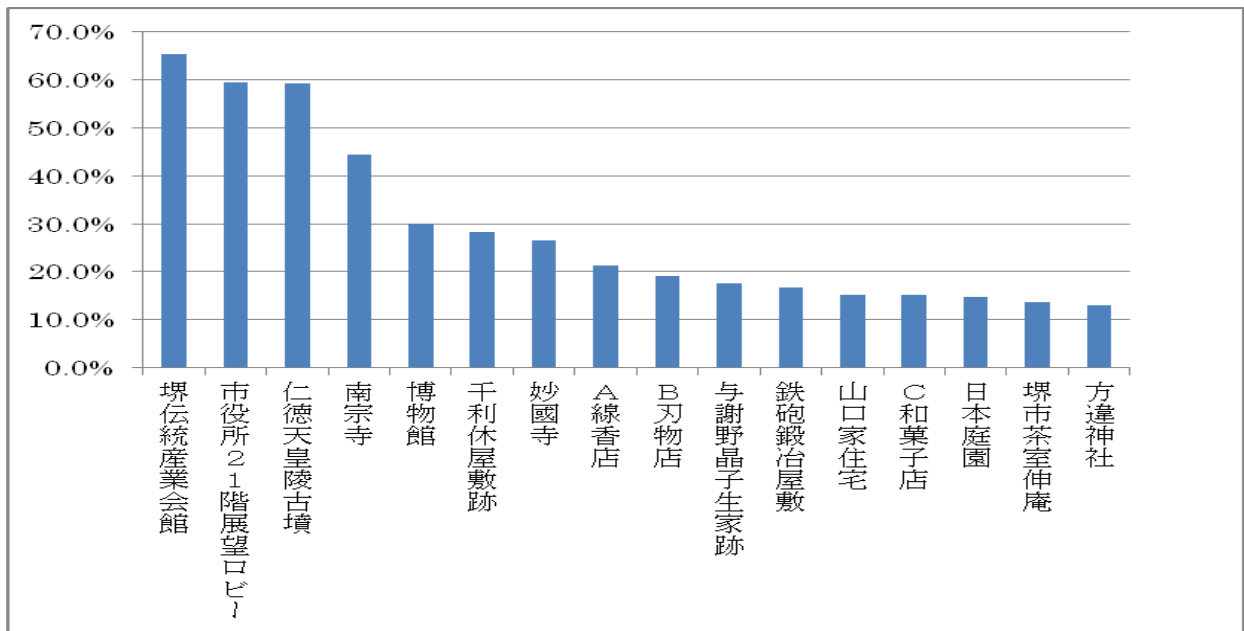


注) その他国内・国外には出発地不明を含む

◎参加者の年齢別構成比【平成24年度】



◎主な訪問先【平成24年度】



■経済効果の推計

○堺観光コンベンション協会取り扱い分（単位：千円）

年 度	18	19	20	21	22	23	24
観光消費額	15,160	28,805	43,518	57,645	67,899	92,005	101,457
経済波及効果							
生産誘発額	12,445	23,560	35,605	47,097	55,474	75,168	82,850
うち粗付加価値誘発額	6,280	11,893	17,974	23,783	28,014	37,957	41,842

○うち助成制度適用分（単位：千円）

年 度	18	19	20	21	22	23	24
観光消費額	15,160	20,880	32,940	37,202	44,432	54,091	57,074
経済波及効果							
生産誘発額	12,445	17,098	26,955	30,396	36,330	44,212	46,634
うち粗付加価値誘発額	6,280	8,635	13,609	15,351	18,343	22,324	23,549